

「250 Days to Go! オンラインフェスティバル for Tokyo2020 in 横浜」を開催します!



東京2020大会開催延期に伴う新たな日程で、東京2020オリンピック250日前にあたる令和2年11月15日(日)から200日前にあたる令和3年1月4日(月)まで、オンライン上でキャンペーンを展開します。動画コンテンツや生配信イベントを通じて、スポーツの持つ力や元気を皆様にお届けします。

視聴方法: 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市ウェブサイト内
<https://tokyo2020.city.yokohama.lg.jp/250days-to-go/>
 ※11月15日(日)から公開予定です。





フェスティバル第1弾(録画) 11/15(日)~

◆配信期間 令和2年11月15日(日)~令和3年1月4日(月)

◆内容・コンテンツ

多彩なコンテンツ盛りだくさん!
 お好きな動画を選択して
 気軽にご覧いただけます

<p>・スタジアムツアー ※東京2020大会が終了するまで配信します。</p> <p>市内のオリンピック競技開催会場の横浜スタジアム・横浜国際総合競技場の内部をご紹介します。</p> <p><出演> 横浜スタジアム <small>たかぎ</small> 高城 れにさん(ももいろクローバーZ)</p> <p><出演> 横浜国際総合競技場 <small>なかざわ</small> 中澤 佑二さん(オリンピック)</p> 	<p>・練習風景レポート</p> <p>・アスリートメッセージ</p> <p>・競技紹介</p> <p>・その他</p> <p>東京2020大会への出場を目指すアスリートからのメッセージや開催競技の魅力、大会を支える技術や共生社会に向けた取組などをお届けします。</p>
<p>・アルケミストがご紹介するコーナー</p> <p>2人組音楽ユニット「アルケミスト」が、横浜ゆかりアスリートの練習状況や学校での取組、審判員によるクイズをナビゲートします。</p> <p><出演></p> <ul style="list-style-type: none"> アルケミスト <small>はつみ</small> 初海 達也選手(パラ陸上)、<small>はまもと</small> 浜本 純矢選手(パラ水泳) ※横浜ラポールで練習されている障がい者立位テニス競技の<small>きし</small> 岸 俊介選手もご紹介いたします。 城郷小学校、万騎が原小学校、桜井小学校の児童の皆さん 横浜市バドミントン協会、横浜市柔道協会、横浜市馬術協会の皆さん 	

※「練習風景レポート」「アスリートメッセージ」「競技紹介」「その他」は、東京2020大会パートナー企業のご協力をいただいております。

協力: パナソニック株式会社、ENEOS株式会社、NEC、富士通株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、株式会社 明治、株式会社 LIXIL、東京ガス株式会社、凸版印刷株式会社、日本郵便株式会社、日本航空株式会社、三菱電機株式会社、読売新聞社、毎日新聞社、コクヨ株式会社

裏面あり

フェスティバル第2弾（生配信イベント） **11/29(日)**

新港ふ頭客船ターミナル「横浜ハンマーヘッド」を発信拠点に、オンラインイベントを開催します。**大会パートナー企業所属のアスリートなどによるトークショーやパフォーマーによるミニライブ、体験型コンテンツ**など、ライブ感あふれる内容をお楽しみいただけますので、ぜひご視聴・ご参加ください。

配信期間 令和2年11月29日(日) 11時～16時

※アーカイブ配信も予定。当日の詳細の配信スケジュールは別途お知らせします（記者発表予定）。

<250 Days to Go! オンラインフェスティバル for Tokyo2020 in 横浜>

主催：横浜市

協力：東京2020組織委員会（申請中）、横浜市スポーツ協会、横浜ラポール、下記の企業の皆様

パナソニック株式会社、ENEOS株式会社、NEC、日本電信電話株式会社（NTT）、富士通株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、株式会社 明治、株式会社 LIXIL、東京ガス株式会社、凸版印刷株式会社、日本郵便株式会社、日本航空株式会社、三菱電機株式会社、読売新聞社、毎日新聞社、コクヨ株式会社

同日開催！東京2020公認プログラム「フォトリゲイニング in 横浜」参加チーム募集中

日時 2020年11月29日(日)

①9時30分～13時30分 ②10時～14時 ③10時30分～14時30分

※雨天決行・荒天中止。3つのグループのいずれかを選んでお申し込みください。

集合・フィニッシュ場所 横浜ハンマーヘッド（所在地：横浜市中区新港2-14-1）

募集人数 100チーム（300人）先着

参加費 大人：3,000円/1名、小・中学生：1,000円/1名、未就学児：無料（要申込）

※申込み後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

申込方法 専用サイト「スポーツエントリー」からお申し込みください。

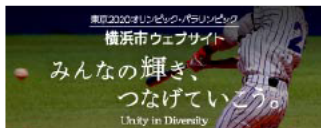
<URL> <https://cs.sportsentry.ne.jp/event/t/82448>

※新型コロナウイルス感染防止対策にご協力いただきます。その他イベントの詳細も、上記サイトでご確認いただけます。

申込に関するお問合せ 運営事務局 [メール] yokohama@photorogaining.com



＼特設ウェブサイト・ツイッター・インスタグラムで情報発信中！／



WEB:東京2020大会横浜市ウェブサイト



アカウント名
@tokyo2020_ykkm

Twitter:横浜市東京2020情報



アカウント名
@tokyo2020_yokohama

Instagram:横浜市東京2020情報

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585

～英国ホストタウン交流事業～

英国オリンピック委員会と市立高等学校との オンライン交流を実施します！



横浜市は、東京2020大会の英国代表チーム事前キャンプ地（大会延期後も事前キャンプ実施予定）・英国ホストタウンとして、英国とのつながりを深める取組を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、来日や直接的な交流が難しくなっている中、これまでの英国とのつながりを活かし、コロナ禍でもできる国際交流の形として、英国オリンピック委員会と市内高校生とのオンライン交流を実施することになりました。

今回は、英国オリンピック委員会マーケティング責任者を務めるEd Jones(エド・ジョーンズ)氏から、横浜市立横浜商業高等学校でスポーツマネジメント科や国際学科で学ぶ生徒の皆さんを中心に、オンライン授業をしていただきます。ぜひ取材をお願いいたします。

●交流会の概要

1 日時	令和2年11月18日(水)17時00分～18時00分(予定)
2 会場	横浜市立横浜商業高等学校(横浜市南区南太田2-30-1) (横浜市オリンピック・パラリンピック教育推進校)
3 参加者 (予定)	＜英国オリンピック委員会＞ マーケティング責任者 Ed Jones (エド・ジョーンズ) 氏 ＜横浜市＞ 横浜商業高等学校生徒 約20名
4 授業 内容 (予定)	●英国オリンピック委員会(Team GB)のブランドとビジョン ●Team GBのファンと影響力 ●Team GBのブランドキャンペーン ●質疑応答 など ※日英逐次通訳が入ります。



Ed Jones (エド・ジョーンズ) 氏
英国オリンピック委員会マーケティング責任者
英国オリンピック委員会にて、東京2020大会に向けた広報キャンペーンの展開や、ブランド開発・デジタル戦略を主導。

●当日の取材について

11月17日(火)までに下記お問合せ先までご連絡ください。

※希望多数の場合は、当日入れ替え制にするなど、取材時間の調整を行う場合がありますのでご了承ください。



英国代表チーム応援ウェブサイト **GO GB 2020** も情報更新中!
<https://gogb2020.jp/>



お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課長 荒木 慎二 Tel 045-671-3645

～共生社会ホストタウン事業～

英国の先進事例から学ぶ・インクルーシブデザイン オンラインセミナーを実施します！



横浜市は、共生社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する「共生社会ホストタウン」として、内閣官房に登録されています。

この「共生社会ホストタウン」の取組の一環として、「スポーツ施設におけるインクルーシブデザイン」をテーマに、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルや、ロンドンパラリンピックのレガシーとして設立されたグローバルであるディスアビリティ・イノベーション・ハブ(GDI Hub)等と連携し、英国の知見をもとにスポーツ施設におけるインクルーシブデザインのあり方を考える**オンラインセミナーを開催**します。皆様のご参加をお待ちしております。

●セミナーの概要

1 日時	令和2年12月11日(金)18時00分～19時00分(予定)
2 講演者 (予定)	グローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ(GDI Hub) オペレーション・ディレクター Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏
3 テーマ	ロンドン 2012 大会のレガシーから学ぶ、スポーツ施設における インクルーシブデザインのあり方・考え方
4 内容 (予定)	●インクルーシブデザインとは何か【日英同時通訳あり】 ●ロンドン 2012 大会の開催経験を踏まえたバリアフリー化事例 ●横浜市のスポーツ施設におけるインクルーシブデザインとは ●質疑応答 (チャット形式) など
5 対象者	市内スポーツ団体、スポーツ施設関係者の方 など



GDI-Hub
オペレーション・ディレクター
Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏

●オンラインセミナーの聴講方法について

ZOOM ウェビナー形式によるオンライン配信を予定しています。インターネット接続された端末(PC、タブレット、スマートフォン等)を各自でご用意いただき、事前にZOOMアプリケーションをダウンロードの上、ご聴講ください。当日の参加用 URL などについては、聴講ご希望の方に追ってお知らせを差し上げます。

●お申込みについて 【メール申込 / 締切：12月4日(金) / 定員100名(先着順)】

sh-precamp-hosttown@city.yokohama.jp までメールにて以下必要事項をご記入の上、お申し込みください。

※メール件名は「【インクルーシブデザインセミナー申込】」としてください。

- ①氏名 (1台の端末で複数名聴講する場合は代表者名と聴講予定人数をお知らせください) ②施設名 (所属)
③電話番号 ④メールアドレス

バリアフリー化でお困りごと・疑問はありませんか・・・?

～スポーツ施設におけるバリアフリー化について、具体例・ご質問を募集しています～

横浜市内のスポーツ施設におけるバリアフリー化において、課題となっていること、具体例がありましたら、裏面お問合せ先のアドレス宛に、写真や動画と共にぜひお寄せください。お寄せいただいた事例については、事前に講師に伝達し、セミナー内で解決策を考えます。(具体例の公開の可否については別途ご相談ください。)

また、講師への質問がございましたら、同様に事前にお寄せください(セミナー当日にチャットによる質問機会もございます)。

裏面あり

●Iain MacKinnon (イアン・マッキノン) 氏のプロフィール

(グローバル・ディスアビリティ・イノベーション・ハブ (GDI Hub) ディレクター)

英国アクセスコンサルタント (NRAC) のメンバーとして、複合施設の基本計画、新旧建築物、製品から会場やライブイベントの運営面まで、幅広いプロジェクトに対して創造的かつ革新的なソリューションを案出し、インクルーシブデザインに関する提言を行っている。

*GDI Hub とは：大学および文化機関の協働組織としてクイーン・エリザベス・オリンピック・パークを拠点に、地域コミュニティ、研究者、専門家、障害のある人々を結びつけ、ロンドン・パラリンピック競技大会によって培われた経験と、障害に関する最先端の専門性を融合することで、更なるイノベーション、共同デザイン、クリエイティブ・シンキングをグローバルに推進している組織です。

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 (共生社会ホストタウン担当)

Tel 045-671-4597

E-mail sh-precamp-hosttown@city.yokohama.jp

GO GB
2020
FRIENDS OF GREAT BRITAIN

英国代表チーム応援ウェブサイト **GO GB 2020** も情報更新中!
<https://gogb2020.jp/>

